

人と地球にやさしい技術、持続可能な未来を築く

第8回 プレス・板金・フォーミング展

MF-TOKYO



出展のご案内

2025年7月16日水~19日土 10:00~17:00 最終日は
16:00まで

東京ビッグサイト 東ホール

主催: Jf一般社団法人 日本鍛圧機械工業会  日刊工業新聞社

<https://www.mf-tokyo.jp/>



出展募集にあたって

年初に発生した令和6年能登半島地震で犠牲になられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。また、被災者の救済に尽力されている方々に深く敬意を表します。

MF-TOKYO は、鍛圧機械(プレス・板金・フォーミング・自動化・周辺機器)の国際展示会として2009年に初開催しました。本展は、ドイツと並び世界で製造産業をけん引する日本の最先端の機械や技術を紹介し、わが国の鍛圧機械産業の発展を目的としています。

今春の各地のお花見での盛況ぶりを見ると、長らく続いたコロナ禍から漸く“日常”が戻ったと感慨深いものがあります。前回2023年は、感染症を恐れながらの開催でしたが、今回で8回目の開催を迎える本展も活況を呈するものと確信しております。

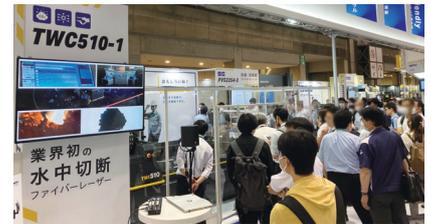
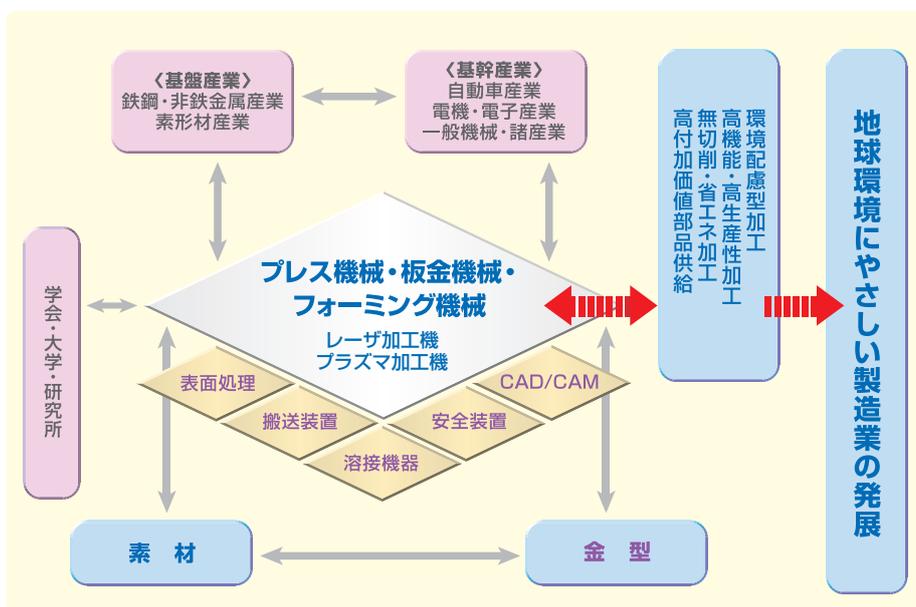
MF-TOKYO 2025では、カーボンニュートラル(CN)やSDGsに対する要請を『人と地球にやさしい技術』と捉え、前年に続きそのワードを包含した「人と地球にやさしい技術、持続可能な未来を築く」を副題としました。CNの実現に向けては各社が取り組まれていると推察します。しかしながら機械単体、また各社単独でのCNの実現は極めて難しく、材料の調達から加工・製造・物流・消費を経て、最終的にリサイクルや廃棄までの、いわゆるライフサイクルでCNの実現を目指すことが肝要ではないでしょうか。ご出展を検討いただく各位におかれましては、生産性向上や加工精度の追求はもとより、鍛圧機械がCNにどのように応えるかに取り組まれていることと思います。本展でその一端がアピールされるものと期待しております。

2年前にはEV化一色に染まるような世界の情勢でしたが、HV・PHVが選択肢の一つとして再び注目される流れをみるとその方向性は流動的と言えます。そうした変化に対して鍛圧機械産業は十分に対応できる“底力”があると思います。鍛圧機械・自動化装置・関連機器・加工技術・サービス技術が一堂に会する本展は、専門展示会ならではのプレス・板金・フォーミング加工技術に造詣の深い来場者様が数多く訪れます。ぜひ優れた製品や技術をご出展いただき、本展示会を情報発信・商談の場としてご活用いただければと思います。関係各位のご参加を心よりお待ちしております。

MF-TOKYO とは

- 1 日本から世界へ発信する塑性加工技術の専門展です
- 2 専門展ならではの質の高い来場者を数多く動員し、多くの商談を創出する展示会です
- 3 セミナー・講演会など最新の塑性加工技術情報を発信します

MF-TOKYO プレス・板金・フォーミング展 コンセプト



開催概要

<p>名称 MF-TOKYO 2025 第8回プレス・板金・フォーミング展</p> <p>副題 人と地球にやさしい技術、持続可能な未来を築く</p> <p>会期 2025年7月16日(水)～19日(土)</p> <p>時間 10:00～17:00 (最終日は16:00まで)</p> <p>会場 東京ビッグサイト 東4～8ホール</p> <p>主催 日本鍛冶機械工業会／日刊工業新聞社</p> <p>後援 経済産業省／厚生労働省／環境省／ 日本貿易振興機構(ジェトロ)</p> <p>特別協賛 日本塑性加工学会／日本鍛造協会／ 日本金属プレス工業協会／日本金型工業会／ 日本工作機械工業会／日本ねじ工業協会／ 日本ばね工業会</p>	<p>協賛 日本自動車工業会／日本自動車部品工業会／ レーザ加工学会／日本ロボット工業会／ 日本電機工業会／日本建設機械工業会／ 日本溶接協会／日本精密機械工業会／レーザ協会</p> <p>海外協賛 中国机床工具工業協会／中国鍛冶協会／中国模具工業協会／ インド工作機械製造者協会／アメリカ製造技術協会／ 台湾機械工業同業公会／韓国工作機械産業協会／ イタリア工作機械工業会 (以上申請予定、順不同・法人格略)</p> <p>併催事業 講演会、セミナー ほか</p> <p>入場料金 1,000円(招待状持参者および事前登録者、中学生以下は無料)</p> <p>目標出展規模 1,800小間(16,200㎡)</p> <p>目標来場者数 32,000人(うち海外来場者1,300人)</p>
--	---

出展対象

プレス機械

サーボプレス、高速精密自動プレス、C形プレス、
ストレートサイドプレス、トランスファプレス、冷間鍛造プレス、
熱間鍛造プレス、粉末成形プレス、油圧サーボプレス、
ファインブランキングプレス、ダイスポッティングプレス、
ハイドロフォーミングプレス、CFRP成形プレス 他

板金機械

レーザ加工機、パンチングプレス、レーザ複合機、
レーザブランキング、プレスブレーキ、シャーリングマシン、
パネルベンディングマシン、プラズマ加工機、
ウォータージェット加工機、ロールベンダー、
ベンディングロール、パイプベンダー、パイプ切断加工機 他

フォーミングマシン

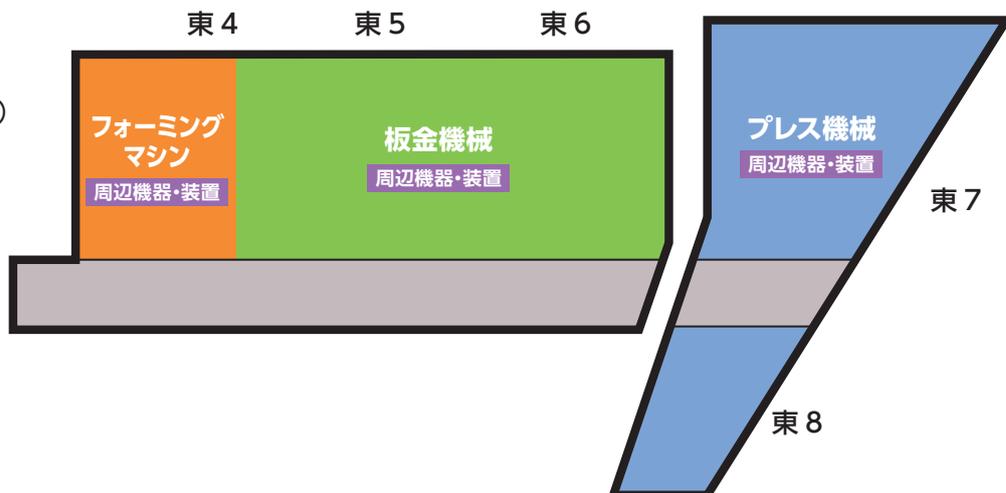
パーツフォーマ、ヘッダー、ワイヤーフォーミングマシン、
ロールフォーミング、転造機、ばね機械、ねじ機械、伸線機、
インクリメンタルフォーミング機(ダイレスNC加工機) 他

周辺機器・装置

自動化装置	送り装置、コイルフィーダーライン、レベラーフィーダ、 ロボットライン、各種コンベア 他
安全装置	光線式安全装置、レーザ式安全装置、ロードモニター、 レーザ用保護めがね・遮光めがね 他
金型関連	各種用途別金型、金型部品及び製造技術・装置・周辺機器・工具、 クイックダイチェンジ、積層金型用転積装置 他
金型成形加工品	プレス加工品、鍛造加工品、板金加工品、フォーミング加工品 他
表面処理	バリ取り機器、防錆・防食関連、洗浄機 他
溶接機器	レーザ溶接機、スポット溶接機、アーク溶接機、溶接3D定盤 他
設計・製造システム	CAD/CAM/CAE、生産管理システム、シミュレーション、 板金加工見積ソフト 他
検査測定機器	検査装置、測定器、試験機器 他
材料関連	用途別金属材料、超硬合金、熱可塑性複合材料、 高速加熱搬送システム 他
レトロフィット	レトロフィット、サービス 他

会場ゾーニング予定

(東京ビッグサイト東ホール)



前回 (MF-TOKYO 2023) 実績データ

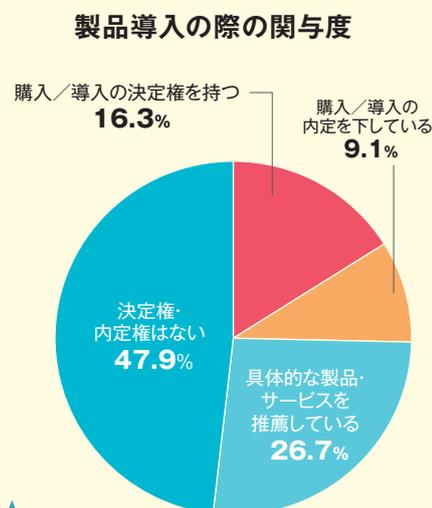
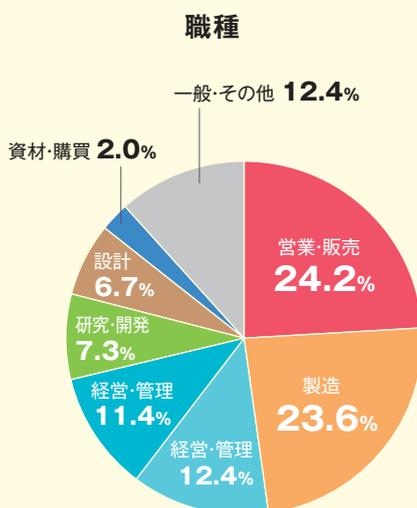
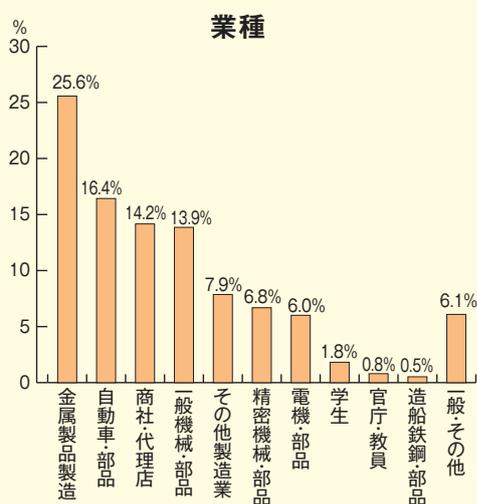
会 期	2023年7月12日(水)～15日(土) 9:00～17:00(7月15日(土)は16:00まで)
会 場	東京ビッグサイト 東4～8ホール
来 場 者 数	28,219人
出 展 者 数	270社・団体(共同出展含む)
出 展 規 模	1,677小間
併 催 事 業	特別講演、プレス技術×型技術 Presents-時代の変化を 追い風に変える 加工メーカーの新視点、 学会テクニカルセミナー、出展者テクニカルセミナー、 大学研究室発表会



専門展示会ならではの来場者と出展者が

入場登録による来場者分析

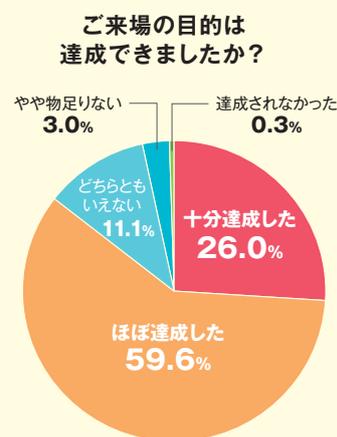
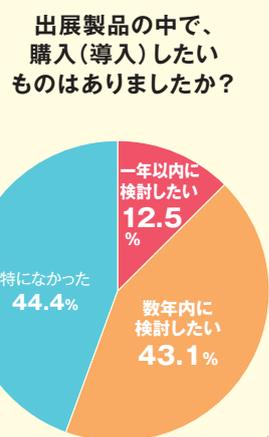
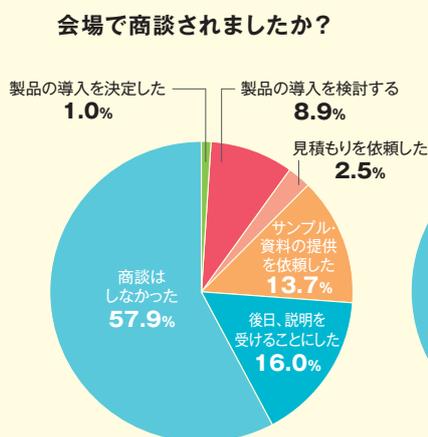
(対象:28,219人)



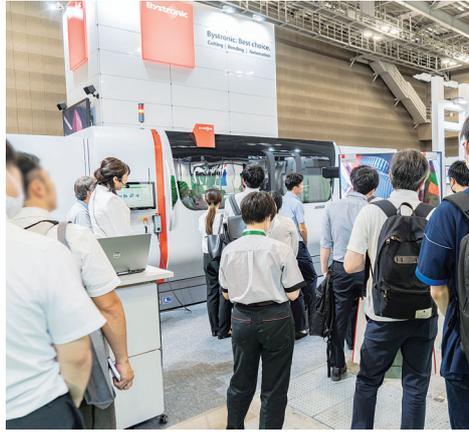
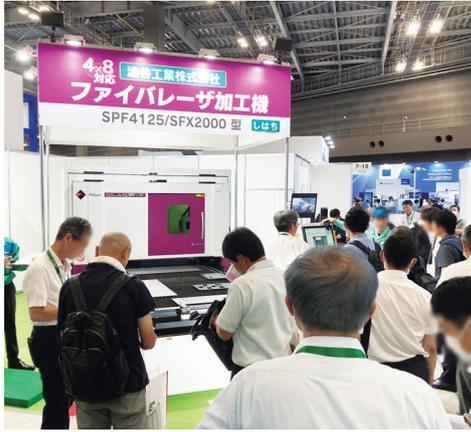
ターゲットとなる業種の来場者が非常に高く、
約50%が製品(技術)購入/導入に影響のある方でした。

来場者アンケート

(対象:400人のサンプル調査結果)



具体的な製品導入の検討など、多くの方が来場目的を達成されました。



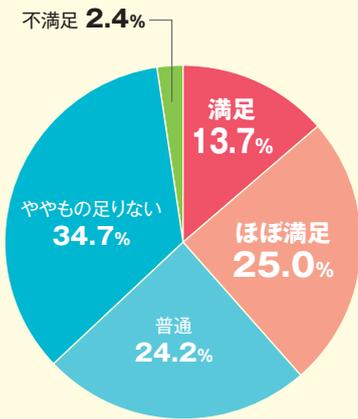
『ビジネス創出』を目的に展示会を活用

前回アンケート結果より

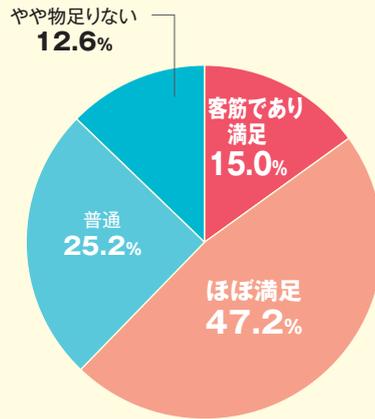
出展者アンケート

(回答数:127社 [会員:54社/一般:73社])

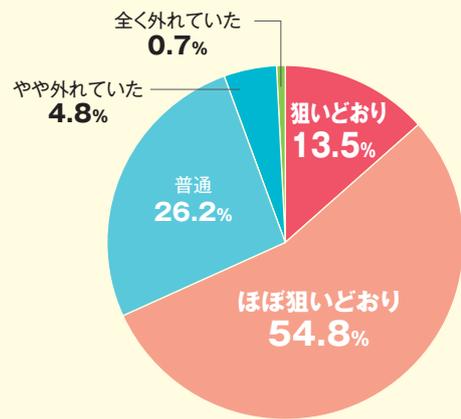
来場者数について



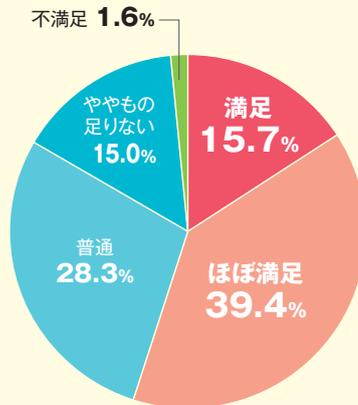
来場者層について



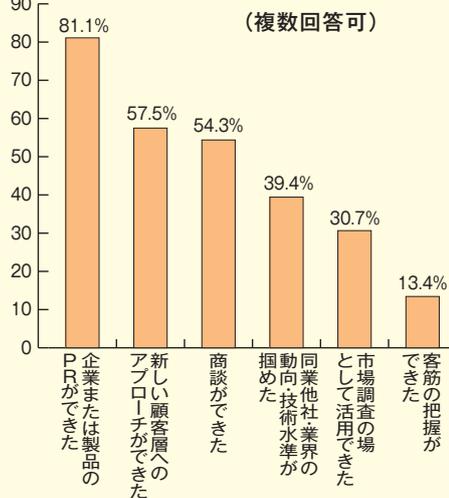
説明を聞いていただいた来場者は狙いとしたユーザー層でしたか?



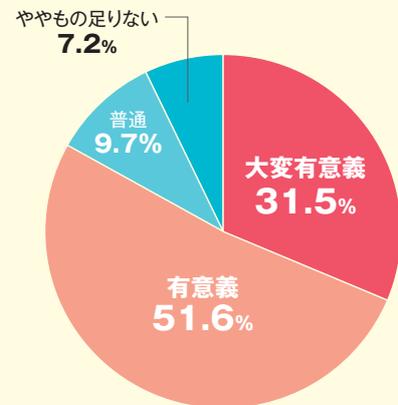
出展効果について
成約・引き合いについて



出展効果について
その他の効果について (複数回答可)



本展に出展した
全体的感想について



ターゲットとする来場者が多く、出展効果が高いという評価になりました。

業界の最新情報を発信する講演・セミナーを多数開催し来場者誘致を図ります。

■ メインステージ講演

学界や産業界から講師を招き、技術的な側面にも踏み込んだ講演会を開催する予定です。

2023年メインステージ講演実績

特別講演	
「レーザーによるモノづくりの未来 ー誕生から明日の産業応用までー」	中央大学研究開発機構 フェロー 新井 武二 氏
「プレス技術の近未来予想図」	東海国立大学機構 岐阜大学 副学長 王 志剛 氏
「プレス技術」×「型技術」Presents 時代の変化を追い風に変える加工メーカーの新視点	
「中小加工業にこそ“ものづくり”の主導権がある！」 ～今まさに100年に一度のチャンスが到来！～	日本金型工業会 学術顧問 横田 悦二郎 氏
「中小企業でもサプライチェーン排出量の「見える化」で利益を出せる！」 ～ GX(グリーントランスフォーメーション)への道筋～	シムックスイニシアティブ 代表取締役 中島 高英 氏
「営業力が会社を救う」 ～ 3つの失敗から学ぶ、ひとりでもできる加工屋の「営業」～	オフィス・キーツ 代表 新開 潤子 氏



■ テクニカルセミナー

日本塑性加工学会をはじめとする鍛圧機械産業に関係の深い学会・団体からの専門的な技術・学術情報を発信を目的とした「学会テクニカルセミナー」と、出展者の製品・技術発表の場となる「出展者テクニカルセミナー」を会期中開催します。「出展者テクニカルセミナー」は、ブースとの連動を図り、出展効果を高める場としてご利用いただけます。



様々な媒体を活用し情報を発信。 出展者・来場者のマッチングをサポートします。

■ 新聞・雑誌で記事・広告を多数掲載

産業総合紙「日刊工業新聞」では会期前から出展者インタビューや出展者の主な展示物を紹介予定。会期中も現場からの熱気や盛り上がり伝える記事を集中掲載します。また、日刊工業新聞社発行の専門誌「プレス技術」「型技術」においては、より技術的なレポートを中心に掲載し、業界専門家の来場を誘致いたします。

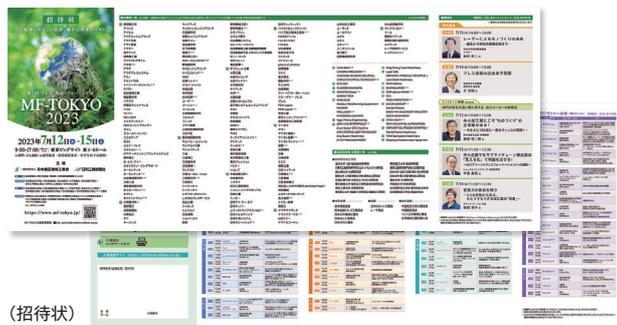


(日刊工業新聞)

(日刊工業新聞)

■ ポスター・招待状の作成

展示会紹介の基本ツールを作成・公開し、PRをいたします。
(ポスター・招待状は出展者へ無償配布)



(招待状)



(ポスター)

■ 公式Webサイトの作成

《出展募集 (2024年7月～12月)》

出展案内や過去の結果報告などを掲載し、出展検討者向けに情報発信いたします。

《来場動員 (出展者説明会 (2025年2月7日予定)以降順次)》

出展者や併催事業を紹介する他、来場のための事前登録を受け付けます。



(ホームページ)

出展料金

1小間(間口2970mm×奥行2970mm)約9㎡につき、下記の通りとします。

区分	種別	本体価格	税込み価格
A	一般	¥420,000	¥462,000
B	協賛団体正会員 (法人のみ)	¥380,000	¥418,000
C	特別協賛団体正会員 (法人のみ)	¥360,000	¥396,000
D	主催者(日鍛工)会員	¥320,000	¥352,000

出展料金に含まれるもの

① 出展小間(右図参照)

② バーコードリーダ1台と取得データ(希望者のみ) ※1

小間来訪者の入場証コードを読み取るにより、後日リスト化したデータを提供する「バーコードリーダ」を1台無償貸与いたします。

- 無償貸与分は1出展者につき1台とし、リーダの追加は有償にて承ります。

③ 会場運営ツール(出展者証・車輛証など) ※1

④ PRツール(ポスター・招待状) P6参照

⑤ 出展者テクニカルセミナー P5参照

希望者のみ。応募多数の場合、事務局にて調整。

※1 詳細は出展者説明会(2025年2月7日予定)にてご案内いたします。

出展料金のディスカウントについて

1 早期申込割引

以下の条件を全て満たす場合、出展料金を1小間あたり「本体価格」から2万円割引します。

- ▶「早期申込期限(10月31日(木))」までに出展申込書を提出・事務局にて受付完了したもの。
- ▶「早期申込金支払期限(11月29日(金))」までに展申込金の支払いを完了、事務局にて入金確認がとれたもの。

2 大規模出展割引

20小間を超える出展の場合、21小間目以降の出展料金を本体価格から10%割引します。

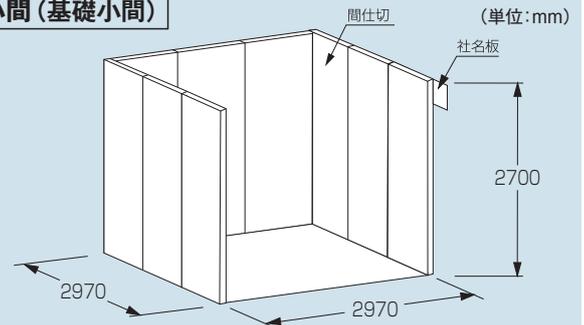
3 1と2の併用

併用の際は、①→②の順にて料金を算出します。

出展小間

● 1小間=約9㎡(2970mm×2970mm)

① 小間(基礎小間)

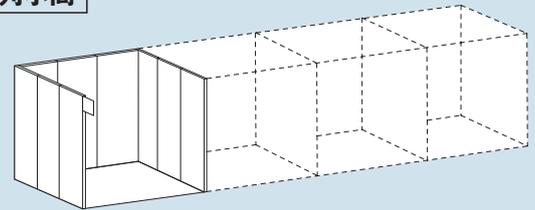


※隣接小間がない場合、側面の間仕切は設置いたしません。

● 横列小間(原則1-4小間の出展者)

基礎小間を横に連結したもので、小間内の間仕切は設置しません。カドにレイアウトされた小間の通路側間仕切は設置しません。

② 横列小間

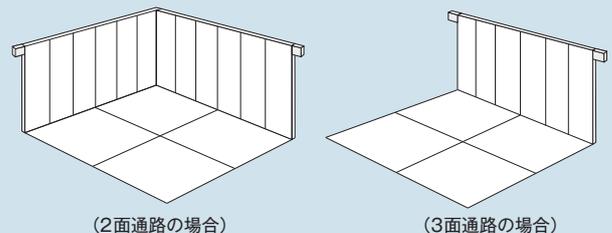


● 複列小間(原則4小間以上の出展者)

基礎小間を縦横に連結したもので、小間内の間仕切は設置しません。レイアウトにより通路面の数が変わることがあります。(下図参照)

③ 複列小間

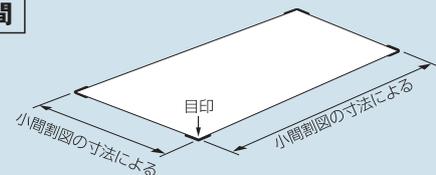
[例:4小間の場合]



● 島小間(原則20小間以上の出展者)

他の小間と隣接しないスペースで、目印を設置します。

④ 島小間



小間の形状(島小間)・位置の決定について

事務局は、上記原則に加え出展分野・展示内容(展示物サイズ)、出展実績、会場環境により、出展位置を決定します。なお、複列小間の「2面通路」又は「3面通路」や島小間のタテ×ヨコの寸法も事務局にて決定します。

出展申込・出展料金の支払いについて

1. 出展の申込

出展を希望される方は、必ず「出展契約規定」(P9・または出展申込書裏)をご確認いただき、出展申込書に必要事項を記入のうえ、メール添付又は郵送にて下記にお申込みください。

申込書送付先

国内・海外一般、協賛団体正会員、特別協賛団体正会員 出展料金区分A~C の申込先

日刊工業新聞社「MF-TOKYO 2025」運営事務局
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
TEL:03-5644-7221
E-mail: mftokyo@nikkan.tech

日本鍛圧機械工業会会員 出展料金区分D の申込先

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館3F
TEL:03-3432-4579
E-mail: info@j-fma.or.jp

早期出展申込期限: 2024年10月31日(木) 当日必着

出展申込金支払期限: 2024年11月29日(金)
出展料金の20%相当を「出展申込金」としてお支払いください。

最終出展申込期限: 2024年12月20日(金) 当日必着

出展料金最終支払期限: 2025年1月31日(金)
早期割引出展の方は残額(80%相当)を、それ以外の方は出展料金全額をお支払いください。

2. 出展の確定

上記に基づき期日(2025年1月31日(金))までに出展料金を全額お支払いいただいた時点で、本展示会の出展を確定いたします。

3. 出展確定小間の優先

出展申込多数の場合、小間数の確保・レイアウト位置など上記出展確定小間を優先いたします。

4. 出展申込完了後の変更や出展キャンセル

すでに申込が完了した小間に対する変更または出展キャンセルについては全て書面に記述し、事務局にご提出のうえ、事務局の承認を得てください。

出展キャンセルに際しては、下記のとおりキャンセル料を申し受けます。

出展受付 ↓ 最終申込期限	2024年7月1日(月)~ 2024年12月20日(金)	出展料金の 20%
最終申込期限の翌日 ↓ 出展者説明会前日	2024年12月21日(土)~ 2025年2月6日(木)	出展料金の 50%
出展者説明会当日以降	2025年2月7日(金)~	出展料金 全額

スケジュール

2024年7月1日(月) 出展申込受付開始

早期出展申込の受付開始。
なお、申込多数の場合、早期申込期限内に受付終了となる場合がございますので予めご注意ください。

2024年10月31日(木) 早期出展申込期限

出展申込金の請求書は、原則として出展受付後5営業日以内に発行いたします。

2024年11月29日(金) 出展申込金支払期限

上記期限内に出展申込金のお支払いがない場合、早期割引の適用から外し、通常料金にて再請求いたします。

2024年12月20日(金) 最終出展申込期限

出展料金の請求書は、原則として出展受付後5営業日以内に発行いたします。

2025年1月31日(金) 出展料金最終支払期限

2025年2月7日(金) (予定) 出展者説明会

オンラインでの開催を予定しています。出展担当者の方は必ずご参加ください。本説明会では、搬入出作業、装飾施工、電気工事などについての諸規定・諸注意を「出展マニュアル」に沿ってご説明いたします。

2025年6月6日(金) (予定) 各種届出提出期限

会場(東京ビッグサイト) 運営スケジュール

2025年7月12日(土) ~ 15日(火) **搬入・装飾施工**

2025年7月16日(水) ~ 19日(土) **会期**
(19日終了後搬出・撤去)

2025年7月20日(日) **搬出・撤去**

出展契約規定

(1) 出展申込および契約申込

1. 所定の出展申込書を展示会主催者である日本鍛圧機械工業会および日刊工業新聞社に提出し、主催者が受領した時をもって出展申込および契約申込が行われたものとします。
2. 日本鍛圧機械工業会の会員企業は同工業会へ、その他の企業・団体については日刊工業新聞社へ、それぞれ出展申込書を提出してください。
3. 出展申込の早期出展申込期限は2024年10月31日(木)、最終申込期限は2024年12月20日(金)とさせていただきます。ただし、予定小間数に達した場合、申込期限前でも締め切ることがありますことをご了承ください。

(2) 出展申込金

1. 出展申込書が届き内容を確認後、出展申込金として出展料金の20%を提出先の主催者より請求いたします。請求書に記載する期日までに所定の振込先にお支払いください。
2. 既納した出展申込金は、いかなる理由にもかかわらず返金いたしません。

(3) 残りの出展料金

出展申込金の入金確認後、残りの出展料金を請求いたします。2025年1月31日(金)までにお支払いください。

(4) 契約の成立および出展小間の使用権

1. 出展者からの出展料金全額の完納を確認できた時をもって出展契約成立となり、展示会において出展小間の使用権を取得することができます。
2. 所定の期日までに出展料金を出展者が入金しない場合、出展契約不成立とみなし出展小間の使用権が取得できません。

(5) 出展契約の変更または取り消し

1. 基本的に出品者は出展契約を変更・解除することはできません。ただし出品者が書面にてその理由を通知し、主催者がこれを認めた場合はこの限りではありません。
2. 既に申込済みの出展小間を縮小し、既納の料金の減額が生じた場合、減額分は返還いたしません。
3. 出展契約を取り消した場合、以下のキャンセル料を申し受けます。

●出展受付開始日(2024年7月1日(月))から

最終申込期限(2024年12月20日(金))まで…出展料金の20%

●最終申込期限の翌日(2024年12月21日(土))から

出展者説明会前日(2025年2月6日(木))まで…出展料金の50%

●出展者説明会当日(2025年2月7日(金)予定)以降…出展料金の全額

(6) 小間位置の決定、小間譲渡等の禁止、装飾の高さ制限

1. 小間位置については出展物の内容・形状・申込順位・小間数・会場構成等を総合的に勘案し、事務局で決定いたします。小間位置は出展者説明会(2025年2月を予定)にて出展者に発表します。
2. 割り当てられた小間の一部または全部を事務局の承諾なしに譲渡、または貸与することはできません。また、転貸、担保に供することを禁止します。
3. 装飾の高さ制限は、小間数に応じて2.7~4.5mとし、一部のみ6mまで認める場合があります。

(7) 出展物の管理保全

1. 事務局は管理者として注意を払って会場全般の管理にあたります。ただし、各出展物の管理は出展者が自己の責任と費用にて行ってください。
2. 事務局は出展物の盗難・紛失・損傷・火災・その他天災地変等を原因とする出展物の損害に対しての一切の補償責任を負いません。従って出展者は出展物に保険を付すなどの措置をとるように配慮してください。

(8) 危険物の持ち込み

1. 引火性・爆発性の危険物の持ち込みを禁止します。また、その他消防法に定められる危険物・裸火を使用する物については所轄消防署の承諾を受けた物以外は持ち込みを禁止します(危険物の持ち込みの解除条件等については出展者説明会にてご説明いたします)。

2. 主催者の承諾を得られなかったもの、関連法令に抵触する恐れがあるもの、および公序良俗に反する物の持ち込みを禁止します。

(9) 実演上の注意・事故防止

1. 出展物の実演は自由ですが、はなはだしい音響・発煙・発光・臭気を伴うもの、または危険を伴う実演は中止を願うことがあります。
2. 実演によって生じた生ゴミ・展示廃棄物は出展者が処理してください。会場内に廃棄しないようにお願いします。
3. 出展者は搬入出、展示、実演にあたり最善の注意を払い事故防止に努めてください。また、出展者は万全の処置を講じ、責任者の常駐をお願いします。主催者自らの責めに帰すべき場合を除き、発生した事故につき一切の責任を負いません。

(10) 原状回復

1. 出展者は、本展の会期終了後、所定の搬出期間を経て出展小間を原状に回復しなければなりません。ただし、出展者が原状回復工事を行わない場合は、主催者において同工事を行い、その費用は出展者が負担するものとします。
2. 出展者が出展小間の明け渡し後、出展者の残物がある場合、主催者により当該出展者へ連絡した後、残物を処分できることとします。また、その処分にかかる費用については、出展者が負担するものとします。

(11) 各種工事の諸経費の負担

小間内で使用する電気使用料ならびに電気幹線工事費、給排水・エア・ガス・通信回線工事費および使用料は、出展者の負担となります。申し込み方法、費用などの詳細については、出展者説明会にてご案内いたします。

(12) 立ち入り点検

1. 主催者および本展の警備・防災担当協力会社は、防火、防災対応のため必要と認められた際は、出展者の了解のうえ、小間内を点検することができます。
2. 搬入時、および会期中、主催者は防火・防災担当の管轄の行政指導により小間内を点検いたします。出展者が点検時に行政指導を受けた場合は、速やかにその指導に従うこととします。

(13) 査証の取得

海外の出展者が査証の取得を必要とする場合、招聘保証書・招聘理由書を含む必要書類は出展者の責任において作成・手続きを行うものとします。主催者は原則として、日本国外務省が定める書式の招聘保証書・招聘理由書を出品者に対して発行いたしません。また、日本国大使館または領事館から査証が発給されず、出展申込者が出展できなかった場合、一切の損害について主催者は何らの責任を負わないものとします。

(14) 開催の中止・短縮・延期・会場の移転

1. 天災、感染症、テロ、国・行政などからの指示・命令、その他不可抗力などにより展示会開催が著しく困難となった場合、主催者は開催前または開催期間中であっても、開催中止、開催期日・開催時間の短縮、開催延期または会場の移転を行うことがあります。その場合、主催者が上記の決定後、速やかに出品者に通知・公表することとします。なお、この決定および実行により被る出品者の損害については、主催者は一切の責任を負わないものとします。
2. 搬入・装飾期間前日までに、不可抗力により全日程が開催中止となった場合、主催者は既に発生した経費を差し引いた出展料の残額を出展者に返金します。
3. 開催中(搬入・装飾期間及び会期)に発生した不可抗力により開催期日・開催時間を短縮・中止した場合については、出展料ならびに主催者と出品者間の直接契約から発生した費用(セミナー実施費用・ストックルーム費用など)は返金しません。また、それによって主催者以外で出品者が要した費用については補償しません。
4. 上記1に基づき、開催延期または会場の移転となった場合、出展料ならびに主催者と出品者間の直接契約から発生した費用は返金しません。

MF-TOKYO 2023 出展者一覧

(出展者名は2023年当時のものです)
(※)は共同出展者(法人格略)

国内出展者

ア行
相澤鐵工所
アイシス
アイセル
アイタエンジニアリング
アクア化学
アサイ産業
アサタ
旭サナック
旭精機工業
アプライドデザイン
アボロ(※)
アマダ
アマダプレスシステム
アミノ
アルファTKG
イージーデータジャパン(※)
Eプラン
生田産機工業
板屋製作所
イチグチ
伊藤忠マシンテクノス
イリス
ウィリー
WEL-KEN
エイチアンドエフ
HSGエンジニアリング
エイム
エコーロード・ジャパン
エスカディア
SCSK
エステーリンク
エヌエスシー
NTTデータエンジニアリングシステムズ
榎本機工
オ・エス・ワイ
オオクボフォーミングサポート
オーセンテック
オーセンテック(※)
大谷機械製作所(※)
大峰工業
奥野機械製作所
オスガーマシン(※)
オプトン
オリエントマシン(※)

カ行
片桐製作所
型研精工
金型新聞社
川崎油工
ギア
キーエンス
キャドマック
キョウシンエンジニアリング
行田製作所
協同エンジニアリング
協和マシン
旭光製作所
日下部電機
楠精工(※)
栗本鐵工所
グローバルコネク(※)
群協製作所
KHエンジニアリング
ケイエステック(※)
KMC
京葉ベンド
ゲルプ・ジャパン
功福企業
向洋技研
向洋技研(※)
コーキ(※)
コーショー
コーレンス
古賀機械製作所
コスメック
コニック
コマツ産機
小森安全機研究所
コロナ社

サ行
阪村機械製作所
サルバニーニジャパン

サンアロイ工業
サンエイテック
三益
三起精工
三共製作所
三桂機械
サンテスト
三徳コーポレーション
三明製作所(※)
三和商工
シーケーピー
シージーケー
シグマテックジャパン
しのはらプレスサービス
澁谷工業
ジャロック
シュマルツ
正田造機
シルバロイ
新研
新興機械工業
新明和機工(※)
スギノマシン
スギムラ精工
杉山電機システム
ストーパー・ジャパン
住友重機械工業 産業機器事業部
住友重機械工業 メカトロニクス事業部
ゼノー・テック
ゼロフォー
善光商事

タ行
ダイジェット工業
大同工業
大東スピニング
大同マシナリー
大平製作所
ダイマック
太洋(※)
大陽日酸
太陽メカトロニクス
高千穂システムエンジニアリング
タカノ
宝精密
タキロンシーアイ
伊達機械
W&N
椿本メイフラン
TACC
ティワイアソシエイツ
デジテック
テンボス(※)
東栄工業
東京精密発條
東洋研磨材工業
東洋プレジジョン
トミタ
トルンブ

ナ行
中島田鉄工所
中田製作所
ニチダイ
日刊工業新聞社
ニッシン・パーテクトチュアル
日伸工業
ニッセー
日本アイ・ティ・エフ
日本タッパー
ニテックドライブテクノロジー
日本ウエルディング
日本計測システム
日本スピードショア
日本フェイウィック

ハ行
バイストロニックジャパン
パイプ加工機械工業(※)
HAWEジャパン
ハシモトキカイ
パスカル
ばね新聞社
枚岡合金工具
ファナック
ファブエース
physical photon

深瀬商事
フジイ
富士機工
藤製作所(※)
不二WPC
扶桑精機
フリーベアコーポレーション
ブルーダラー・プレス
プレス
PEM Japan
PEM Japan(※)
豊栄工業
豊光エンジニアリング(※)
放電精密加工研究所

マ行
マーボス
マコー
マツモト機械
マツモト産業(※)
マツモトマシナリー(※)
豆蔵(※)
丸昭機械
万陽
三嶋商事
ミスズ
瑞穂工業
三井ハイテック
三豊機工(※)
三菱電機
三菱長崎機工
未来の新しいカタチを共創する Joint Creation Project
村田機械
ムラテックフロンティア
名工技研(※)
メイコー商事
森鉄工

ヤ行
ヤマザキマザック
ヤマシタワークス(※)
山田トビー
ヤマナカコーキン
山本水圧工業所
ユーザック
ユーロテクノ
ユタカ
ユタニ
ユタニ(※)
ユニオンツール
吉川鐵工
吉野機械製作所
米山金型製作所

ラ行
ランテクノロジ
リール
理研オプテック
理研計器奈良製作所
ルブテック
レーザ技術サービス
レッグジャパン

Lazer Safe
LIEN CHIEH HYDRAULIC INDUSTRIAL
Lien Chieh Machinery
MVD Makina
NUMALLIANCE(※)
Ortlinghaus-Werke(※)
RCS
REGG INSPECTION(※)
SACMA GROUP(※)
Sanes Presses
SHIEH YIH MACHINERY INDUSTRY
SOCO MACHINERY
3 View.Com(※)
TZYH RU SHYNG AUTOMATION
WEIPOWER TOOL PRECISION ENTERPRISE
World Precise Machinery
YHM Springtech Machinery
Zhejiang Innovation Laser Equipment

学会・協会・工業会

日本塑性加工学会
金沢大学 設計製造技術研究所
木更津工業高等専門学校 ロボットものづくり研究室
国土館大学 大橋研究室
静岡大学 工学部 機械工学科 塑性加工研究室
芝浦工業大学 生産加工プロセス研究室
東京電機大学 塑性加工研究室(柳田研究室)
東京工業大学 吉野研究室
東京都立大学 先端加工工学研究室/微細加工研究所
東京農工大学 桑原研究室
長野工業高等専門学校 宮崎研究室
日本大学 生産工学部 前田・鈴木研究室
日本大学 理工学部 塑性加工研究室
福井大学 大津研究室
早稲田大学 鈴木研究室
日本塑性加工学会 板材成形分科会
日本塑性加工学会 鍛造分科会

日本鍛造協会
アサヒフォージ
アジャックスストック・マグネサーミックジャパン
アンテックス
イチタン
伊藤製作所
インタクトサムグループジャパン
ウチノ
近江鍛工
大塚鉄工
大宮日進
KAKUTAテックフォーミング
ゲルプ・ジャパン
ゴージュ
サムテック
シンニッタ
知多工業
Toa & Arai 東亜鍛工所
東京精密鍛造
東京鍛造工業協同組合
東福鍛工
関南鉄工
浪速鉄工
日亜鍛工
ノリタケマシンテクノ
豊和鍛工
北陸工業
峰山鉄工所
ミヤジマ
メタルアート
八木工業
理研鍛造
日本金属プレス工業協会
日本工作機械工業会
日本ねじ工業協会
日本ばね工業会
日本ロボット工業会
レーザ協会

海外協賛団体

中国机床工具工業協会
中国鍛圧協会
インド工作機械製造者協会
台湾機械工業同業公会

海外出展者

A-Z
Carlo Salvi(※)
CHIDING PRECISION(※)
CHIN FONG MACHINE INDUSTRIAL
CHING CHAN OPTICAL TECHNOLOGY(※)
DIETRONIC
ECO CNC
FLADDER DANMARK
GOIZPER Group(※)
GWEIKE TECH
HAEUSLER
Hatebur Metalforming Equipment
HAWERS
HSG LASER(※)
HYODONG MACHINE
Isgec Heavy Engineering
JERN YAO ENTERPRISES(※)
Jinan Bodor CNC Machine
JINAN SENFENG LASER TECHNOLOGY
Jing Duann Machinery
JYI CHYNG MACHINERY
King Shang Yuan Machinery

出展のお申込み・お問い合わせ先

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館3F

TEL.03-3432-4579

<https://j-fma.or.jp> E-mail : info@j-fma.or.jp

**日刊工業新聞社 総合事業本部イベント事業部内
MF-TOKYO 2025 運営事務局**

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1

TEL.03-5644-7221

<https://www.nikkan.co.jp> E-mail : mftokyo@nikkan.tech